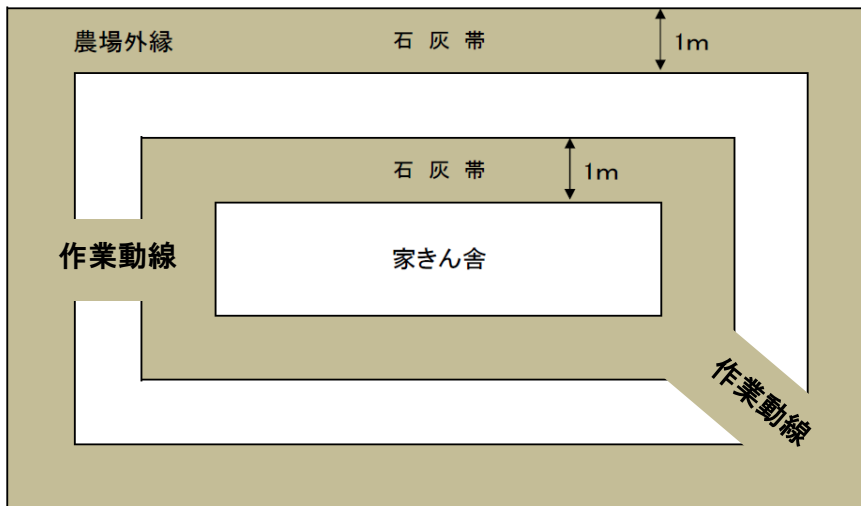


全国一斉の緊急消毒をお願いします！

高病原性鳥インフルエンザの全国的な発生を受け、農場へのウイルスの侵入防止に万全を期すため、家畜伝染病予防法に基づく緊急消毒を実施するよう農林水産省から指示がありました。

家きん飼養者の皆様におかれましては、下記の消石灰散布による消毒方法に従い、消毒の実施をお願いいたします。

消石灰散布による農場及び家きん舎の消毒方法



↑ 石灰散布の例

※色付部分に石灰を散布

- 家きん舎周囲と農場外縁、作業動線を少なくとも1m以上にわたる範囲で地面が白く覆われるようにムラなく石灰を散布する。
- 肥料散布機や塵取り、スコップを用いて1㎡当たり1kgを目安に散布する。
- 繰り返し雨や水に濡れてしまうと、消毒効果がなくなる。
- 消石灰は強アルカリ性のため、マスク・手袋を着用して散布する。
- 併せて、殺鼠剤及び殺虫剤の散布によるネズミ、昆虫等の駆除を行う。
- 消毒作業が終了した場合は、家畜保健衛生所に連絡をお願いします。



ちり取りを活用した散布方法

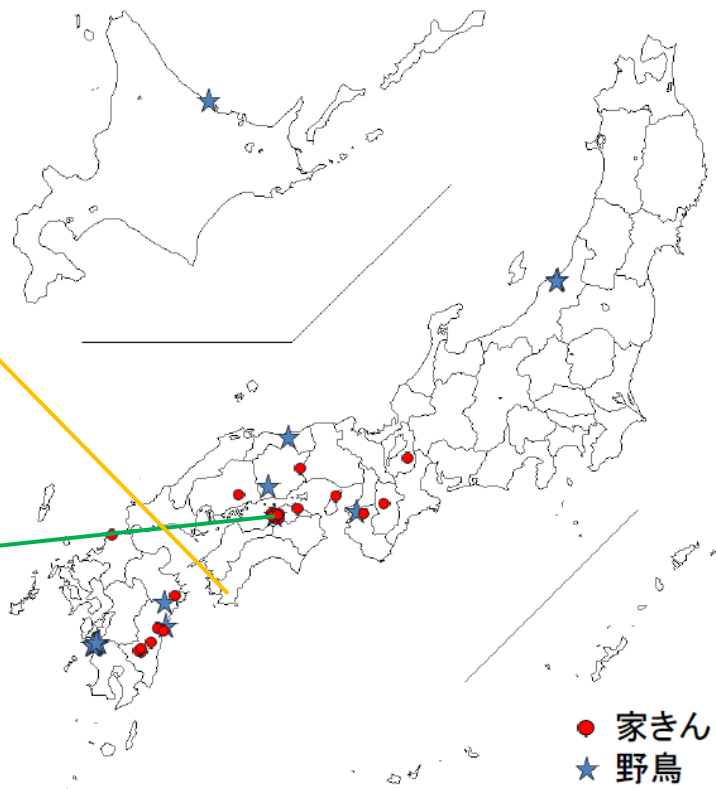


ホウキ等でムラをなくす

全国で高病原性鳥インフルエンザ続発

高知県、香川県で新たに高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の発生が確認されました。

12月16日までに11県で28例、41農場の鶏342万羽が殺処分の対象になり、2003年以降、**過去最多**となりました。



27例目

- ・確定日：12月16日
- ・所在地：高知県 宿毛市
- ・飼養状況：採卵鶏（約3.2万羽）

28例目

- ・確定日：12月16日
- ・所在地：香川県 三豊市
- ・飼養状況：肉用鶏（約1.4万羽）
- ・疫学関連：肉養鶏（約1.5万羽）

HPAIの特定症状

- 元気消失
- 食餌や飲水量の減少
- 産卵率の低下
- 顔の腫れ
- トサカや脚の変色（紫色）
- 咳、鼻水、下痢

毎日の健康観察を行い、万が一異常があれば家畜保健衛生所に御連絡ください！

出典：農研機構



写真1：肉冠の出血・壊死



写真2：顔面の浮腫性腫脹



写真3：脚部皮下の出血



写真4：甚急性死亡例、明らかな肉眼病変なし

埋却地の御用意をお願いします！

万が一の発生に備えて埋却地の選定について前向きにご検討ください。
※埼玉県では、HPAI発生に係る処分は焼却を想定しておりますが、新型コロナウイルス関連の感染性廃棄物処理の増加に伴い、HPAI関連の焼却処分が困難な状況です。

